



法人便り 8月号

令和7年8月3日

保護者・ご家族、そして職員の皆様

社会福祉法人聖母の家
理事長 植木 存



猛暑と自然災害に備える

保護者の皆様におかれましては、この度の猛暑が続く中、いかがお過ごしでしょうか。

危険な暑さを通り越して、まさに地獄のような暑さが続いています。焼き付けるような日差しと、体が溶けてしまいそうな暑さに、毎日へとへとになっておられることと存じます。

近年、日本列島とその周辺では、自然災害が頻発しています。トカラ列島での地震、桜島の噴火、そしてカムチャツカ半島付近で発生し、三重県にも津波警報が発表された地震。立て続けに起こる自然災害は、いつ、どこで起こるかわからない不安を私たちに突きつけています。また、例年より台風の発生も多く、これから秋にかけて特に注意が必要です。

さて、9月1日は「防災の日」です。これを機に、ご家庭でも防災について話し合う機会を持っていただければ幸いです。

当施設でも、常日頃から防災意識を高め、緊急時に備えた訓練を継続して行っております。しかし、いつ起こるかわからない災害に備えるには、ご家庭と施設が連携し、日頃から準備しておくことが不可欠です。

このような時だからこそ、冷静に対応できる準備をしておくことが大切です。

この猛暑の中、利用者と保護者の皆様が健康で安全な日々を過ごせるよう、職員一同努めてまいります。

これから本格的な夏を迎えます。どうぞ体調には十分お気をつけて、お元気にお過ごしください。
今後とも宜しく願い申し上げます。

